

対象施設の名称	今戸社会教育館
指定管理者の名称	株式会社 山武
所管部課	生涯学習推進担当 生涯学習課

## 評価委員会による評価

### 1 評価の観点

「評価の観点」((1)～(4))における委員会の評価については、委員会の合議により決定した。

#### (1) 事業の運営について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント

- 「今戸焼き」という地域の生産物の知名を活かし、自主事業の一環として取り組まれている陶芸講座は需要が高いと思われ、今後も利用者の増加が期待できる。
- 職員の教育に関する資格取得への支援や、職員配置における適材適所の原理が強く打ち出されており、良好なサービス提供に向けた体制強化に努めている。
- 利用者の午前9時からの利用開始に備え、午前8時30分より開館して準備時間を設けるなど、区民サービスの向上に努めつつ、自主事業として特色ある講座を多数設け、利用者の獲得に努めている姿勢もみられる。

#### (2) 施設の維持管理について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント

- 年次計画・月次工程に基づく施設設備の管理や年2回の備品の点検管理を実施するなど、業務水準どおりの管理運営が適切に実施されている。

### (3) 利用者の満足度について

委員会の評価：S (区の評価：S)

#### 委員のコメント

- 交通利便性等の条件で利用者数を伸ばすのが困難と考えるが、陶芸講座などの自主事業を展開している点を高く評価する。今後も自主事業の企画等により、さらに需要を掘り起こせる可能性が十分あるので、魅力ある事業の実施を検討されたい。
- 地域密着型の施設として地域の需要に応えた事業展開がなされており、また近隣の苦情処理も適切に行われるなど、近隣住民との信頼関係にも配慮されており、これらの点が特に重要な評価要素と思われる。

### (4) 歳入歳出について

委員会の評価：A (区の評価：A)

#### 委員のコメント

- 少ない予算の中で、よく工夫して管理運営されているが、利用率の低迷化に対する抜本的な対応策を打ち出すことも必要と思われる。

## 2 総合評価

総合評価は、P 6 に示した基準に従い、「評価の観点」の結果に応じて評価を付した。

委員会の評価：妥当 (区の評価：妥当)

#### 委員のコメント

- 他の施設には無い陶芸講座については、人気があり若手から高齢者まで幅広く参加もできることから、この事業の拡充について検討を進めている点は大いに評価できる。
- 社会教育館全体の事業計画がほとんど同じ内容となっているが、各施設の特性を考慮し、特色ある事業計画を個別に策定されたい。

## 区への意見

#### 委員のコメント

- 他の施設で不要になった陶芸窯を、本施設で利活用したいという指定管理者の要望について、区としても検討されたい。

※ 「委員のコメント」及び「区への意見」については、評価の過程における多様な意見を報告書に反映するため、各委員から出された様々な意見を記載している。

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 生涯学習課

施設名称	〔46〕 東京都台東区立今戸社会教育館					
指定管理者の名称	株式会社山武	指定期間	H21. 4. 1 ～ H24. 3. 31			
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出入並びに試験及び検査の請負等					
(2) 類似施設の管理実績	(平成22年3月31日現在) 東京都北区滝野川体育館他31施設					
(3) 経営状況		売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益〔単位：百万円〕		
	20年	68,965	53,056	15,908		
	21年	60,041	48,546	11,494		
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	台東区今戸2-26-12(今戸住宅2F)					
(2) 設置目的	区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を活発に行わせる。ラーニングスクエア等を開設し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3) 利用者	社会教育団体として登録されている団体、センターが行う事業に参加する区民					
(4) 開館日・時間	火曜～日曜 月曜：13:00～22:00 休館日：祝日(元旦除く)、年末年始(12/28～1/4)					
(5) 規模	ホール50人 第一会議室30人 第二会議室40人 和室30人					
(6) 人員体制	週40時間勤務 4人 週30時間勤務 1人					
<b>3. 事業(サービス提供)の概要</b>						
(1) 委託事業	1、生涯学習・社会教育活動に関する資料の収集及び学習情報の提供 2、施設利用者の生涯学習・社会教育活動に対する指導、助言及び相談 3、生涯学習ラーニングスクエアの実施					
(2) 自主事業	5講座実施 6回 延参加人数：148人					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	委託料		14,540,000	13,914,000	15,214,000	15,490,000
	料金収入等		2,200,000	2,500,000	1,200,000	1,100,000
	管理経費		16,740,000	16,414,000	16,414,000	16,590,000
決算	委託料		14,540,000	13,914,000	15,090,000	15,490,000
	料金収入等		1,002,820	1,102,790	985,555	890,290
	管理経費		16,266,376	16,266,253	16,075,555	16,380,290
	収支	0	-723,556	-1,249,463	0	0
<b>5. 施設の稼働状況等(活動指標)</b>						
指標名称	単位	18年度	19年度	20年度	21年度	
年間開館数	日	343	341	340	340	
ラーニングスクエア講座数	講座	10	12	14	14	
自主事業講座数	講座	3	1	4	5	
<b>6. 成果指標</b>						
指標名称	単位	目標値(23年度)	19年度	20年度	21年度	
利用率	%	26.0	23.6	25.5	25.4	
利用件数	件	1,000	923	997	991	

7. 前年度からの取組				
<ul style="list-style-type: none"> <li>各スタッフのスキル向上を図るための接遇教育研修の充実を図った。</li> <li>ラーニングスクエア開校にあたり、区内の人材や地域文化を活用し多様なニーズに対応できるようジャンルの拡大と、受講者の世代拡大に努めた。</li> <li>社教館ニュース「花の雲」を新たに発行し、情報発信の頻度を四半期に1度から毎月を増やすことで、PR活動の強化を図った。</li> </ul>				
8. 評価項目				
		3：協定等の水準を上回っている。	0：協定等の水準を下回っている。	
		2：協定等の水準どおりである。	-：評価対象外項目。	
		1：おおむね協定等の水準だが課題がある。		
評価の観点	評 価 項 目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[3]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[2]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.2]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[3]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費縮減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]
9. 評価				
S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。				
A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。				
B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。				
C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。				
D（水準未滿）： 協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評 価	説 明		
(1) 事業の運営	A	21年度から教育主任を設置し、社会教育センターの総括主任との連携のもと、館で自主事業を主体的に決定できる体制とした。本館では、託児付講座を実施し、子育て世代の学習機会の向上に努めた。		
(2) 施設の維持管理	A	21年度から館長を置くことにより、社会教育センターとの情報連絡が密接になった。これにより情報伝達が迅速になり、施設の維持管理がより円滑化されている。		
(3) 利用者の満足度	S	他の社会教育館より利用率は低いが、利用者からはおおむね良好の評価を得ている。また、演奏活動に対する近隣からの要望についても、利用者への働きかけや、防音装置の設置などにより迅速かつ適切に対応している。		
(4) 歳入歳出	A	歳出については適正に行われている。歳入は減少しているものの、免除利用が増加したためであり、利用率は昨年度とほぼ同等である。		
10. 総合評価				
良好 妥当 要努力 要改善 不適				
妥当		他の社会教育館より利用率は低いが、利用者の満足度は高く適切な管理運営が行われている。しかし、免除利用の増が原因とはいえ歳入が減少していることから、一般利用者の増加について更に取り組んでいく必要がある。		
11. 評価結果への対応				
ホームページや社教館だよりなどを活用した広報活動を図るとともに、魅力的な講座を開設し、修了者のサークル結成を更に推進することにより、一般利用者数の増加による歳入増を図るよう、指定管理者と協議していく。				